

カエル鳴く谷津田と集落の守り神「鎮守の森」を巡る
平成30年5月13日（日）
四街道市 物井周辺の里田と神社

今回のテーマは里山のカエルと鎮守の森。物井駅より線路沿いを進み、イタドリ、アカバナユウゲショウ、クサフジ、ヤブジラミ、コメツブツメクサなど見ながら、田植えが終わったばかりの里田へ。キジやオオヨシキリ、シュレーゲルアオガエルなど盛んに鳴いているが、ニホンアマガエルの声はほとんどない。シロダモの若葉のピロードのような感触、ホオノキやエゴノキの花、一面のチガヤ・ハルジオンなど楽しんでもらう。

クワの実が早くも色づいているが食べるにはちょっと早い。コジユケイのチョットコイを聴きながら豊受神社に到着。スタジイの古木やキッコウハグマなど鎮守の森の自然の豊かさを実感していただく。山梨妙見神社のサイカチや幹の空洞にスズメバチの大きな巣があるスタジイ巨木に感嘆の声。立派な農家の庭にはケヤキなど巨木が多い。雨がぱらつく中、長岡の六地藏を経て、さとくらし公園で昼食後、天照皇大神社に立寄り、物井駅までのんびり下り無事解散。



物井駅より出発



里田を歩く



豊受神社にて



スタジイの空洞にスズメバチの巣



六地藏前にて